

フードバンクかながわ 事務局通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ

フードバンクかながわは、
フードバンク団体として初の公益社団法人に認定されました。



食品提供と食支援の現場をつなぐ

フードバンク 検討会

フードバンク
かながわ

食品寄贈企業

×
地域フードバンク

×
行政・社協

12月12日水
10:00~12:30

場所 フードバンクかながわ 事務所/倉庫

金沢区富岡東2-4-45
シーサイドライン鳥浜3分

地域フードバンク活動を応援しよう

事業指定助成プログラム

「エラベル」

【寄付期間

12月1日~3月20日】

目標金額120万円 食品配達費用、広報費用、コーディネーター費用、講演会開催費用などに活用。

食べ物の不安なく、子供たちが安心して成長していく地域へ！

子供の貧困に取り組む地域のフードバンク活動（食糧支援活動）を支援してください。

横浜市瀬谷区で始めた「お福分け活動」。きっかけは親と子のひろばに集うお母さんからの「生活が苦しい」という声からでした。困窮以外にも様々な困難を抱える家庭の現況が浮き彫りになり、地域にセーフティネットの必要性に直面しています。寄付金により地域のネットワークを作り、地域一体となって食料の分かち合いによる子どもの「食べられない」状況を防ぎます。

詳細はかながわ生き生き市民基金HPへ

多様なアルファ米の変わりご飯



缶詰パン

企業・官庁・学校・保育園・病院などでは防災備蓄品を用意しています。幸いなことに食べることがなかった備蓄品は、2か月以上賞味期限を残してフードバンクへの提供が広がっています。

変わる！防災備蓄品

乾パンのイメージがあった防災備蓄品は、食品加工技術が進み近年大変おいしくなっています。アルファ米・缶詰パン・お惣菜・お菓子など、ニーズに合わせた品揃え。

中でも、ライフラインが止められている場合でも、少しの水があれば食べられるアルファ米は好評です。

「A 共済連かながわ」から提供されたアルファ米はきのこ、ドライカレー、鳥そぼろ、山菜おこわ、海鮮などの田舎ごはんや白米。レトルト筑前煮、おでん、豚汁でした。

50食単位の炊き出し用アルファ米の提供



相模原市森下記念病院からは50食（5kg）単位のアルファ米（白米・五目御飯・ドライカレー・炒飯）を40箱提供がありました。この2000食は、炊き出しによる食支援を行っている横浜市中区寿町カナン・キリスト教会に提供しました。

写真：カナン・キリスト教会
ホームページより

子どもたちも参加



川崎市民まつりにて



パルゆめつなごう展にて

スタッフからメッセージ 事務局 小林 薫さん



7月から「フードバンクかながわ」事務局の一員として勤務することとなり、早5ヶ月を経過しました。

フードバンクに来た時は、お米や飲料水的なものはありませんでしたが、フードドライブ用の棚にはほとんど食品がなく、さびしさ感とともにフードドライブの取り組みが課題でありました。こうした中、事務局は各事業者および賛同団体にフードバンクの説明会（実地研修も含め）の開催を積極的に呼びかけ、8月に入るとユークoopさんの20店舗においてフードドライブを取り組んでいただくこととなり、その後、多くの賛同団体によるフードドライブが実施され、寂しかった棚は様々な食品が絶え間なく置かれるようになり、皆様の取り組みに感謝しております。

また、団体会員・個人会員ともに賛助会員数が伸び、食品寄贈事業者・食品受け取り団体（行政・社協・子ども食堂等）も増加している状況となっています。引き続き「もったいない」の精神のもと「分かちあい」を「ありがとう」の運動の一員として、頑張りていきますので、これからどうぞよろしくお願申し上げます。

公益社団 フードバンクかながわ

お問い合わせ

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

045-349-5803 発行責任：藤田 誠

info@fb-kanagawa.com 045-349-5803

